



ラピュタ通信

【発行】
 特定非営利活動法人
 ラピュタ創造研究所
 〒915-0074 福井県
 越前市蓬萊町5-1
 TEL 0778-21-3190

■太介不乃己不をさがせ！

越前国府は敦賀にあった？！

ラピュタの歴史物プロジェクト「^{たけふのこふ}太介不乃己不をさがせ！」が1年間計画で昨年の12月から始まりました。きっかけは、『福井新聞』(2006年10月23日)に載った「(越前国府は)奈良時代、敦賀にあった」の記事です。この「敦賀説」を述べているのは、朝倉氏遺跡資料館の水野和雄さんです。水野さんの考えでは、「①飛鳥奈良時代の越前国府は敦賀にあったが、その後武生に移転した。また、②催馬楽に歌われている“太介不”は現在の敦賀市道口地区付近にあってあった“たけふ”であり、武生の“たけふ”は誤って明治二年に名付けたものだ。」というのです。武生の人に言わせれば、「エー、なんやっ。そんな馬鹿な話しあるかい。」です。

■国府移転説は敦賀だけではなかった、味真野・大虫国府説も！

まず、①の初期越前国府の位置について、調べてみました。すると意外なことがわかりました。福井大学助教授(地理学)の門井直哉さんは、「初期越前国府は味真野にあって、後に武生に移転した。“太介不乃己不”とは味真野のことである。」という論文を最近発表されています。また、武生出身の著名な美術史家であった源豊宗さん(1895-2001)が大正8年に発表した『武生の起源』という文章の中で、「国衙は深草の金剛院の場所であった可能性がある。いや、もっと西の大虫丹生郷付近にこそ越前国府があって、その頃武生は人家も疎らであったかも知れない。」とまで述べています。要は、誰をも納得させるような国府説はまだないということです。

武生は本当に「武生」だったのか？

②の「太介不」も調べました。武生が「武生」であった確証はどれもなさそうです。武生側証拠としては、文禄4年(1595)の『御霊神社縁起』に「越前國竹生郷鎮座」とあり、また寛文5年(1665)の『總社大神宮由緒書』に「太介不乃己不(即ち竹生ノ國府也)」があります。一方、敦賀側証拠としては、嘉永年間(1848~1854)に成立した『敦賀志』に「長沢・……・阪下・道口・小河 右八村、日武生郷」とあり、また『延享の古帳』や『越前名跡考』にも「武生郷」とか「武符郷」と書かれています。しかし、どれもこれも、催馬楽の影響を受けて後世に文書捏造をした疑いが濃いようです。



う国研の活動の様子

発掘で勝負！

こうなると、あとは物的証拠収集=発掘で地道に証明していくしかないようです。時代の特定できる木簡か墨書土器に「武生」とか「国司」とか書いてあるものが発掘されればそれで決まりです。この「発掘で勝負！」の考えは、敦賀側代理人の水野さんも、武生側代理人の真柄甚松さんも「望むところ」のようですので、両方早急に発掘体制を整えて掘ってみてはいかがでしょうか。ラピュタ国府研究会(略称:う国研)も、ボランティア発掘グループ「ラピュタ発掘調査隊」を組織して積極的に発掘調査に参加していきます。

■otonaの文化祭 2006 開催しました！

武生の暮らし方を見つめる

2006/10/1~15

4回目を迎えた「ラピュタotonaの文化祭」。昨年に引き続き『武生の暮らし方 衣食住』をテーマに、26のイベントを開催。ラピュタのお友達にもいっぱい企画参加いただいた結果、来年にも続く多彩な企画を実施できました。武生のみならず遠方のお客様も多数お見えになり、楽しんでいただきました。みなさん、ありがとうございました。

■2007年は、9/30~10/14を予定

これからもotonaの文化祭を、ラピュタの研究・調査の発表の場、そして武生の街中の楽しみ方の発信の場にしたいと思います。★興味のある方はお気軽にラピュタまでご連絡下さい。



北新庄自治振興会 「三里山(さんりやま)マップ」作成中

開催しました

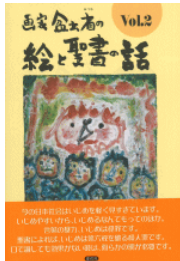
「盆出省(ぼんでみつむ)展」12/11~16



2006年12月11日(月)~16日(土)の6日間、南越前町在住の画家盆出省氏の個展がラピュタ

で開催されました。愛育社より11月に出版された盆出さんの絵本『絵と聖書の話』第2集に掲載されている作品を中心に、版画・コラージュ・油絵など30点を展示。多くの方にご来場いただきました。

今回発行された絵本は、社会問題となっている「いじめ問題」をみつめ、十戒と、聖書・神・救いについて解説されています。第1集と同じく、見開きで、文章と絵の構成になっています。20歳後半から40歳前半にかけて牧師をされていた盆出さんの愛にあふれる優しさと厳しさがつまっている絵本です。★お求めになりたい方は、ラピュタまでご連絡下さい。



第2集の表紙

ただいまラピュタでは、越前市北新庄自治振興会の方たちと一緒に「てくてく三里山マップ」を制作しています。越前市と鯖江市の境にある三里山の登山コース、名所、自然などを紹介したものです。

今回のマップはちょっと画期的です。「三里山」をテーマに、北新庄地区だけではなく、三里山を囲む北新庄地区、旧今立町や鯖江市の各地区、そしてNPOとが協働して、地域を越えた地図づくりという新しい試みなのです。



熱心にマップづくりに取り組んでいます

出来がりは3月ごろを予定しています。みなさん、楽しみに待っていてください！

ラピュタ名物「もってけ市」の品物 大募集!

「2006年のゴールデンウィークと、otonaの文化祭に開催され、早くも「ラピュタ名物(?)」となった「もってけ市」。おうちに眠る品々を、「あ、これ欲しかったんや〜!」「まだ使えるが〜?」とご希望の方に超特価でお譲りする、そんな「ロハス」な企画です。

好評につき、2007年も継続開催予定!

- 随時「品々」を募集しています。
*食器、日用品など *小型家電製品(使用可能なもの)
*家具 *書籍 *着物 など

◎昭和レトロな品々、特に大募集!

できるだけそのまま利用ができるよう、メンテナンスはしておいてくださると助かります。また、内容によっては受け取れない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

★お問合せはラピュタ(0778-21-3190)まで。



2月開催

「ペロ亭やきものキャラバン&ペルー民芸 in 越前」2/2(金)~4(日) 11:30~19:00

恒例になった『ペロ亭やきものキャラバン&ペルー民芸』が今年の冬も登場です。ペロ亭の岩国英子さんのやきものは、「春を待つ」花器を中心に日用雑器が並びます。ペルー民芸は、アクセサリー、織物、セーター、ペルー民芸陶器、人形など。1月中旬にペルーから帰国予定なので、豊富な品揃えになります。こうご期待! 会期中の夜には「おしゃべり会」を計画。ペルーの「日本語自主学習グループがんばろう」とそれを支援する「プエンテの会」の米谷恵子さんたちの活動について、写真を使って報告します。詳しくはラピュタまでお問合せ下さい。



3月 三国で開催

「嗚呼憧れのコーヨーパラダイス 街日記2」3/11(日)



昨年の「otonaの文化祭」で上演した劇『嗚呼憧れのコーヨーパラダイス街日記2』が、日頃のご縁で三国湊座にて再演されることになりました。内容は、駐車場だらけなこの街を舞台にしたちょっと辛口なドタバタなストーリー。今回の公演は、otonaの文化祭で大評判となったシナリオの、ちょいリメイク版になります。

湊座周囲は三国の散策ポイント。おいしいジェラートのお店「カルナ」さんもあります。武生版をごらんになった方も、始めての方も、三国散策がてら観劇を楽しんではいかがでしょうか。

詳細は決まり次第ラピュタのホームページでお知らせします。また、お気軽にラピュタまでお問合せください。

武生暮らしの歳時記スタート!

スタッフ 募集中です

ラピュタがこだわってきた「武生の暮らし方」を現在の視点できちんと見つめ直そうと、「武生暮らしの歳時記」調査をこの1月からスタートさせます。この企画に興味をもたれた方ならどなたでも参加OKです。みんなで知恵を絞って、楽しく武生の1年を通した「衣・食・住」をじっくりと調査したいと思います。調査・研究の成果は、一冊の本にまとめる予定です。



興味のある分野ごとに、仲間と一緒に楽しく調査していきたいと考えています。

武生に興味がある、武生大好き、写真が得意、イラスト大好き、なんか興味あるぞという方々、お気軽にお問合せください。

★お問合せはラピュタ(0778-21-3190)まで。

私たちは、持続可能な地域社会をめざします



〒915-0074 福井県越前市蓬萊町5-1
TEL 0778-21-3190 FAX 0778-21-0676
e-Mail info@laputa21.com
ホームページ http://laputa21.com/